



令和4年度速報版
発行
川越学園連絡協議会
令和4年5月2日

川連協 会長就任挨拶

40期 かく 加来 まさみ 政純

令和4年度の川連協会長に就任しました40期の加来です。新型コロナウイルスの感染拡大が一向に収まりませんが、微力ながら頑張りますのでご協力宜しくお願い致します。

彩の国いきがい大学は1976年(昭和51年)に、高齢者の学習の場として、社会の変化に対応できる能力を身につけ、社会参加による生きがいを高め、卒業後は地域活動のリーダーとして活躍して頂くことを目的に埼玉県老人大学として開校し、1994年(平成6年)に運営を財団法人いきいき埼玉に移管し、名称を「彩の国いきがい大学」に変更しました。

川越学園は1977年(昭和52年)5月に開設され、今日まで多くの方々が川越学園を卒業し、校友会組織の下にクラブ活動や社会貢献活動などに取り組んで来ました。しかし、時代の変化や高齢化のため次第に各期の活動が休止状態になり会員数が減少し、今年度の川連協会員は3期校友会と個人会員で、合計128名となってしまいました。令和2年に彩の国いきがい大学から「埼玉未来大学」へと刷新され、自治会は設立されず校友会の新規加入が無くなった事が大きな要因です。

1983年(昭和58年)に県連協が発足しましたが、令和2年に埼玉未来大学に変更されたため、県連協運営の見直しを行い、3大事業(社交ダンス、グラウンド・ゴルフ交歓会、芸能祭)・広報活動が中止となり情報交換の場となりました。川連協としては理事会に参加しながら様子を見てきましたが、グラウンド・ゴルフ大会や芸能祭が無くなり代表者だけの意見交換の場となり、参加する意味が薄れてきたため理事会で慎重に検討した結果、残念ながらこの度の令和4年度定期総会にて県連協退会を決定致しました。

多くの先輩たちが長年にわたり築いてきた、県連協・川連協の歴史と実績を守り続けて行きたいと思いますが、組織の弱体化は歯止めがかからず、加えて新型コロナウイルス感染拡大のため事業計画が思う様に実施出来ません。この状況の中で川連協は今年創立45年を迎えます。会員の皆様の希望する事業を計画したいのですが、会員の減少や事業担当役員への負担が大きいため、事業計画を絞り令和4年度の事業は、①ボーリング大会 ②第37回文化祭 ③新春日帰りバス旅行、この3本の事業を中心に今期は活動したいと思います。各事業の間隔が空きますがこの間は各期の校友会で独自に会員の希望を取り入れ、皆が楽しめる計画を実施して頂けることを期待しています。

最近私達の周りでは大病に罹ったり旅立つ人が見られますが、何時までも若い気持ちを忘れずに、老人パワーを発揮して元気に頑張ってください。校友会会員の皆様のご健勝をお祈り致します。

